

江戸街道プロジェクト推進ビジョン2023の基本方針(位置づけ)

「江戸街道プロジェクト推進ビジョン2023」は、江戸街道プロジェクトを2024年度までに広域関東(※)における効果的な施策とするために、当該エリアにおける観光関係団体等による「街道を活かした積極的な取組」を促す方針をとりまとめたものです

※ 広域関東・・・福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県の1都10県

広域関東における観光推進の方向性

- 潜在する地域資源を磨き、ブランディングすることで情報発信力を高め、認知し、訪れてもらい、体験(消費)してもらう
- 域内全体が意識を共有できるブランディングを通じて、ブランド価値を高め、さらなる来訪を促す好循環を目指す

広域関東観光のポテンシャル

- ① 国内有数の観光地や温泉地、江戸文化が花咲いた歴史・文化のほか、まだ知られていない地域資源も含めたコンテンツが豊富
- ② 高度に整備された鉄道・バス・高速道路ネットワーク
- ③ 国内を代表するゲートウェイである成田・羽田の国際空港があり、訪日外国人旅行者の誘客に有利

8つの取組

- ① 連携の契機となる街道ごとのストーリー設定
- ② ロゴマークの活用と展開による気運の醸成
- ③ ニーズとターゲットに対応したプロモーションの推進
- ④ 既存の街道関連団体との協働と連携組織の拡大
- ⑤ 地域の取組や人材育成に対する支援
- ⑥ 実証事業の実施によるモデル事例の構築
- ⑦ 補助金等を活用したコンテンツ造成等の推進
- ⑧ フォーラム等の開催による認知度の向上



「江戸街道プロジェクト」の推進で目指すべき姿

広域関東が一体となった観光振興の取組に向けた支援

- 地域の観光コンテンツや街道プロモーションツールを集約し、広域関東における街道観光の情報発信を一元化するプラットフォームの構築と効果的活用
- BtoC：一方向な情報発信にとどめず、双方向ファンネットワークの仕掛けづくり
- BtoB：地域の関係者が繋がる場としての機能構築

